

VIII. 管理運営

1. 法人組織の管理運営体制

(1) 各委員会

1) 学園関連委員会

a. 短期大学（部）学長会議

- ・ **目的** 本会議は、学校法人東海大学組織及び業務分掌規程第7条第2項に基づき設置され、事業報告及び学園基本方針に則った各短大の計画について審議する場となっている。
- ・ **委員構成** 学長会議は、総長（理事長）が議長を務め、副理事長、各短期大学（部）学長、学長補佐、学務局担当理事、事務局担当理事、高等教育部長、総務部長、その他総長が必要と認める教職員をもって組織している。

b. 短期大学（部）事務室長会議

- ・ **目的** 学長会議の円滑な会議運営のため、事前調整と課題提出などの役割を担っている。
- ・ **委員構成** 議長は、学務局担当理事が務め、各短期大学（部）事務室長、及び法人本部の高等教育部長及び高等教育課長、その他学務局担当理事が必要と認める教職員をもって組織している。

c. 総合研究機構運営委員会

- ・ **目的** 『学校法人東海大学総合研究機構基本理念』に基づき、総合研究機構運営委員会を設け、研究活動を推進するために定めた事項を審議する。
- ・ **委員構成** 委員長は総長とし、委員は理事、大学・短期大学（部）の学長及び研究部門の総括責任者とする。

d. 一貫教育委員会

- ・ **目的** 学校法人が設置している幼稚園から大学院までの教育の一貫性と融合性の推進を目的として、様々な方法論等を検討、協議し、実践するための企画を立案するために設置された委員会である。この委員会は第一部会から第四部会に分かれ、それぞれのテーマを協議、検討を行っている。
- ・ **委員構成** 総長が委嘱する次の委員等をもって構成する。
 - 委員長 総長が任命する理事とし、委員会を総括する。
 - 副委員長 委員長が指名する者とし、委員長を補佐する。
 - 事務局 委員長が指名する者若干名で構成し、委員会および運営委員会の司会進行を行う。
 - 専門部会長 委員長が指名する者とし、各専門部会を総括し運営する。また、必要に応じて副部会長を置くことができる。副部会長は部会長を補佐する。
 - 専門委員 高等教育機関および初等中等教育機関より委員長が指名する者若干名とし、各専門部会の研究テーマに基づいて審議・研究活動を行う。
(高等教育機関より32名、初等中等教育機関より28名が指名された。)

・ 研究目標（各部会のテーマ）

(1) 『第一部会』【研究目標】連携を深め、活性化をより高める一貫教育

(研究内容)：地球市民として心をつなぎ、人と社会と自然が共生できる 新しい文明社会の実現に寄与すべく、建学の精神をよく理解し、現代文明論を核として高邁な思想を培う。
幼稚園から大学までの、それぞれの教育機関が互いに連携して教育力を高める。一貫教育のメリットと可能性を最大限に引き出し、「学園はひとつ」を合言葉に、どうしたら連携・連帯の絆を強くできるか。学園全体の活性化につながる教育活動のあり方について検討し、社会とのよりよい関係についても模索する。

(2) 『第二部会』【研究目標】多様化する生徒・学生のニーズに対応する教育

(研究内容)：生徒・学生のニーズは年々多様化しており、本学は他に先駆けて科目等履修生やe-Learning等によりさまざまな対応を続けてきている。
また、施設設備の外的要因だけでなく、不登校や発達障害を抱える生徒への対応も依然として重要である。今後さらに多様化していくと考えられる生徒・学生等のニーズに対応する教育や入学前教育（e-Learning・研究レポートに対す

る定着度)について検討する。

(3) 『第三部会』【研究目標】スポーツ振興推進による一貫教育

(研究内容)：建学の精神に基づいた東海大学のスポーツ振興について、園児・児童・生徒・学生の発達段階に応じた方策を考え、一貫教育を重視したうえで、付属校の競技力向上と、国際社会にも対応した生涯スポーツ社会の実現に向けて、今後さらに必要と考えられる事項を検討する。

また、学園内のさまざまな組織の連携についても検討し、優秀な付属校生の確保と、スポーツの効果的な広報活動についても組織的な対応が推進されるように提言を行う。

(4) 『第四部会』【研究目標】学園内の上級学校への進学を推進

(研究内容)：幼小、小中、中高、高大でそれぞれ連携して行われている行事や学部学科説明会をさらに活性化する。新学部改組内容の説明会および進学指導に新しい視点で取り組む。学園内の上級学校への進学者を増やすことに主眼を置き、特に理工系離れ対策や内部進学制度の充実を図る施策について検討する。

e. 現代文明論連絡調整会議

- ・ 目的 本会議は、学校法人東海大学が設置する各大学・短期大学（部）で実施する「現代文明論」が、法人の教育方針に沿った学園全体の統一性、整合性を維持するための講義計画案や方法論等を協議することを目的とする。

・ 委員構成

委員長 蟹江秀明学務局担当理事

委員 (法人) 山際政明、(東海大学総合教育センター) 加藤泰、(東海大学阿蘇教養教育センター) 阿部正喜、(東海大学国際文化学部) 佐保吉一、(短期大学部) 柴田正憲、(短期大学部) 山本康治、(医療技術短期大学) 秋元とし子、(福岡短期大学) 伊津信之介、(現代文明論研究センター) 難波克彰

事務局 (法人) 小早川眞、相澤祐子

f. 短期大学（部）入試企画委員会

- ・ 目的 入試の基本計画に関する事項、短大（校舎）の入試の調整に関する事項、その他本委員会において必要と認める事項について審議することを目的とする。

・ 委員構成

委員長 蟹江秀明学務局担当理事

副委員長 山際政明高等教育部長

委員 (短期大学部) 柴田正憲入試問題作成委員長、(短期大学部) 五十嵐正晃事務室長、(医療技術短期大学) 櫻井和好事務室長、(福岡短期大学) 小林繁事務室長、(法人) 小早川眞高等教育課長

事務局 (法人) 相澤祐子

2) 人事管理

専任教職員の採用から福利厚生に至る人事管理に関して、職員については法人人事部、教員については法人高等教育部が統括している。

3) その他の学務管理

上記以外の学務運営に関しては、法人高等教育部を窓口にして相談し、本学の管理運営を行っている。

2. 本学内の管理運営体制

(1) 学内委員会

1) 教授会

- ・ 目 的 本会議は、本学の教育及び研究に関する事項、学生の学籍異動に関する事項、教務及び学生に関する事項、学長の諮問に関する事項、その他必要と認められた事項について審議及び報告すること。
- ・ 委員構成
議 長 高橋守人 学長
委 員 専任教員全員、小林 繁（事務室長）

2) 大学評価委員会

- ・ 目 的 学長の諮問機関として、学生及び外部の大学への評価を総合的に分析し、大学における教育と組織の改革に資すること。
- ・ 委員構成
委員長 真下 仁
委 員 貝田翔二、赤井ひさ子、宮川幹平、小林 繁、森田博文
- ・ 内 容 次年度(2009 年度)に行われる短大基準協会による第三者評価に向けて、ALO の真下仁大学評価委員の貝田翔二、宮川幹平を中心に具体的な準備を始めた。
最大の課題は、「報告書」の作成にあるので、最終版に至るまでの報告書作成担当者およびスケジュール表を作成した。同時に、教授会や臨時の説明会を通して、第三者評価の意義を繰り返し説明し、報告書の作成へのさまざまな関与を依頼し、本学全体で直接・間接的に第三者評価に参加していただくような雰囲気の醸成に努めた。報告書に関しては、スケジュールに従い、夏休み明けの 10 月に、各担当者が提出した原稿をまとめ最初の Version 1 を完成した。その後、大学評価委員会委員と各担当者との検討会を繰り返し開くことで、3 月末までに、Version 4 を仕上げる事ができた。ほかに、学生による大学評価及び授業評価アンケート等の項目の検討・改善を行い、より学生の意見が汲み取れるように工夫した。また、教育研究年報の作成を担当するとともに、東海大学短期大学（部）紀要への復帰に伴い、本委員会が担当部署となり、第 42 号の発刊に向けた作業を行った。
- ・ 今後の課題 2009 年度の第三者評価に向けて、「自己点検・評価報告書」を完成させ、その後の訪問調査が順調に進むように準備を行い、「適格」の評価を得ることと、大学評価の最も重要な点は、教育の質の確保にあるので、FD 委員会等と連携して、学内全体で教育の質保証のための活動を行うことが今後の課題となった。

3) 企画調整会議

- ・ 目 的 本委員会は、本学の基本的な運営について検討及び審議すること。
- ・ 委員構成
委員長 高橋守人 学長
委 員 真下 仁、斎藤守正、宮内 順、八尋剛規、矢原充敏、小林 繁、森田博文、香月康則、山本真由美
- ・ 内 容 将来構想に関する事項、予・決算に関する事項、教職員人事に関する事項、各種委員会の集約、広報活動に関する事項、短大学長会議及び短大事務室長会議に関する事項、学務に関する事項、大学評価に関する事項などについて調整する中枢機関として毎週 2 回（計 19 回）開催し、各委員会からの答申に基づいて審議した。
- ・ 今後の課題 本会議の管理下に広報・入試、教務、学生、進路、人権啓発、セクシャルハラスメント人権、危機対策、安全衛生の委員会組織、その他本学の運営に必要な事項に関して審議事項とした。しかし、教務や学生など協議内容について連動している委員会は、次年度以降合併することも視野に入れる。また、組織体制としては不明確な部分があり、より一層教授会審議事項の最終調整機関としての役割を明確化させることが今後の課題となった。

4) メディア情報センター運営委員会

- ・目的 本学のメディア情報学習の支援・推進に関する次の事項について審議する。
 - (1) 予算の編成ならびに実施に関すること。
 - (2) 施設、設備の管理・整備・運用に関する基本的事項に関すること。
 - (3) 諸事業の企画並びに運営に関すること。
 - (4) その他、本委員会に関する運営上の基本的事項に関すること。
- ・委員構成
 - 委員長 高橋守人 学長
 - 委員 八尋剛規、矢原充敏、伊原奉賢、宮川幹平、小林 繁、山本真由美、塘 将典
- ・内容 本学情報環境全般の基本システムの維持管理及び運用支援に関する事項、教材の web 化推進のための開発環境の整備及び開発支援、図書・e-Learning 教材など学習資源の蓄積・管理・運用に関する事項、メディア情報センターの管理運営・企画に関する事務または技術全般に関する事項について審議した。

また、採択された文部科学省の平成 20 年度「質の高い大学教育推進プログラム」事業の運用について審議した。
- ・今後の課題 G P 資金運用のための研究や調査を行い、引き続きこの分野の先駆的役割を果たすことが求められている。また、地域還元においても市内 3 大学との連携の上で、推進的な役割になることも求められている。

5) F D 委員会

- ・目的 企画調整会議の諮問により、本学における教育内容の改善と向上を調査研究し、答申すること。また、特別研究費の審査についても目的の一つとした。
- ・委員構成
 - 委員長 八尋剛規
 - 委員 貝田翔二、神山高行、徳永克美、大方優子、香月康則
- ・内容 リアルタイム授業評価の活用促進と教育の活性化、教員による授業参観（教員相互評価）を柱に研究会を実施した。また、特別研究費の申請内容の検討も行った。
- ・今後の課題 リアルタイム授業評価及び授業参観については、今後も活用促進や参観科目数増加を求めていかなければならない。また、発達障害のある学生への対応についても F D ・ S D を含めた研究会を実施するなどの検討が必要である。

6) 学科連絡会

- ・目的 各学科において、指導教員として把握している学生の現状報告、カリキュラムや履修・成績における問題提起・解決策など、教育運営に関わる一切の事項を検討すること。
- ・委員構成
 - 委員長 各学科主任
 - 委員 各学科専任教員
- ・内容 まず、指導教員より問題のある学生を報告、その対処方法などを検討した。また、教員間で持ち合わせている情報の共有化を推進するとともに、各委員会へ提言する内容なども検討した。
- ・今後の課題 各学科で同一課題を検討した際に、検討結果を調整して各委員会や企画調整会議に提言している。カリキュラムなど学科の特色を出すための検討も今後必要である。

7) 現代文明論委員会

- ・目的 学長の諮問により、本学における現代文明論の実施運営に関する事項を審議することを目的とする。
- ・委員構成
 - 委員長 伊津信之介
 - 委員 徳永克美、大方優子、北濱幹士、森田博文
- ・内容 講義は、前年度の東海大学現代文明論連絡調整会議で決定した講義編成に沿って実施した。「現代文明論 I」および「現代文明論 II」の基本テーマは、「現代文明はいかにして誕

生したか」、「現代文明の諸問題」、「新しい文明の創造に向けて」である。「現代文明論 I」では、松前達郎総長の「東海大学の建学の思想とその源流」、高橋守人学長の「大学で何を学ぶかー建学の精神とその基調ー」の講義を導入部とし、「現代文明論 II」では、蟹江秀明理事の「東海大学の基本理念と未来」の講義を導入部とした。また、「現代文明論」の講義を受けることの意義を再確認し、現代をいかに生きていくべきか、環境・人権・国際社会における日本の役割にも目を向けさせ、広い視点で物事を見たり考えたりすることの大切さの認識が深まることをねらいとした。

- ・今後の課題 レポートにおける文章表現力の弱い者、さらには集中力が維持できない者などが増加傾向にあり、ガイダンスの充実やレポート作成のためのノート記述、要点の把握方法などの指導が重要になってきた。レポート評価の中間発表を行い、より良いレポート作成へ向けた意欲高揚を計る事が重要である。今後このプロセスの改善を進めていきたい。

昨年度より現代文明論 I からフラッシュ WEB 教材化が学内補助金を得て行なわれている。理由の明確な欠席者やレポート作成が未熟な者に、補講としてフラッシュ WEB 教材コンテンツを活用している。通常の現代文明論授業にフラッシュ WEB 教材を適用する事に関しては時間をかけて検討していく予定である。

8) 広報・入試委員会

- ・目的 企画調整会議の諮問により、本学の広報活動の基本方針及び入学募集要項に関する事項を企画立案し、答申すること
- ・委員構成
委員長 高橋守人 学長
委員 伊津信之介、佐竹則昭、八尋剛規、宮内 順、赤井ひさ子、チョウアンナ、竹内裕二、小林 繁、香月康則、久田秀子
- ・内容 広報・入試については、パンフレット作成、オープンキャンパス（学校見学会を含む）、高校訪問、広報ツール作成のほか、エクステンションセンター福岡講座運営についても具体的な企画立案や内容について答申をまとめた。
- ・今後の課題 本学の運営上重要な委員会のため、答申だけではなく実行組織としての活動も求められた。企画立案に止まらず、企画の即効性や実効性の上からも早急に組織の独立性を図ることが当面の課題となった。また、厳しい学生募集を反映して企画内容についても従来の方法を再検討する時期にきていることから、入試データ分析やオープンキャンパス参加者アンケート分析などを精査し、方法論だけではなくカリキュラムや教育内容についても外部意見として提案できる組織とすることも課題となっている。

9) 教務委員会

- ・目的 企画調整会議の諮問により、年間のカリキュラムを円滑に実施するため、授業時間割編成、授業担当教員の編成、学生の授業履修便宜、ゼミナール編成、ガイダンス運営、学年暦編成などに関わり、これらについて調査検証し、答申すること。また、教育システムの変化に適応した規則等の変更と整理を行ない、教育現場に齟齬を起ささないように対処することも目的の一つとしている。
- ・委員構成
委員長 矢原充敏
委員 徳永克美、宮川幹平、吉岡メリー、大方優子、竹内裕二、小林 繁、森田博文、西村真紀子
- ・内容 2008 年度入学生より 1 学期の履修上限を 24 単位とし、学生の過剰な履修を防いだ。また、公認欠席について、学生委員会と協議し、2009 年度からの運用を目指して「欠席に関する申し合わせ事項」と新規の欠席届を作成した。新しい部会としてオリエンテーションキャンプ部会を立ち上げ、2009 年度の運営について学生委員会のメンバーとも協議した。
なお、教育研究年報と紀要論文については、大学評価としての意味合いが強いため、大学評価委員会に引き継ぐこととなった。
- ・今後の課題 カリキュラム設定後の時間割作成は、検討会を設けて協議した結果、例年よりスムーズに実施された。しかし、確定直前に変更があるなどで調整を要し、学科連絡会や企画調整

会議を経て2月教授会での承認となった。2009年度は1月末までには確定したい。

また、数年後の本学の改組を鑑み、他大学の現状も把握しながら履修モデルや授業科目の設定などを協議していかなければならないことから、本学の教育方針を見直ししていくこととなった。

10) 学生委員会

- ・ **目的** 企画調整会議の諮問により、学生の学園内における生活支援、健康管理等の重要性に鑑み、学園生活を円滑に過ごすことができるよう諸事項を調査研究し、答申すること。
- ・ **委員構成**
 - 委員長 伊津信之介
 - 委員 三木容彦、佐竹則昭、末松泰子、宮内 潤、伊原奉賢、北濱幹士、小林 繁、森田博文、古川智絵美、山本健一
- ・ **内容** 各種奨学金について、リーダース奨学金を廃止し、新たに資格取得奨励奨学金を制定し、1回目の奨学生を選考した。カウンセリング以外の学生意見聴取のための学生相談室や学生談話室など2009年度から設置できるよう協議した。意見箱の設置については、学生相談室の相談状況を鑑みて実施することとなった。喫煙問題では分煙状況の検証を実施した。リーダース研修会は2泊3日とし、例年より充実した内容となった。
また公認欠席については、教務委員会と連携し2009年度より「欠席に関する申し合わせ事項」を基に運用することとなった。
- ・ **今後の課題** 喫煙区域を指定したため、管理のあまり行き届かないトイレやベランダでの喫煙が目立ち始めた。また車両入構についても無許可の駐車が頻繁に出るなど、現在の指導方法では限界にきている。学内禁煙や組織的な車両通学指導を行う必要がある。
2009年度より公認欠席・出席停止の運用を実施に伴う欠席届の様式変更により、学生の混乱を招かないようにする必要がある。また、ここ数年、心の問題を抱える学生が増える傾向にあり、健康推進室を中心に学生に対する精神的なケアの強化は、急がれる課題である。

11) 進路委員会

- ・ **目的** 企画調整会議の諮問により、学生の就職、編入学など進路に関する事項を調査研究し、答申すること。
- ・ **委員構成**
 - 委員長 神山高行
 - 委員 斎藤守正、佐竹則昭、矢原充敏、宮内 順、竹内裕二、山本真由美
- ・ **内容** 進路委員会では、月1回開催し、主に答申次の内容を協議した。
 - (1) 進路状況の動向調査
 - (2) 両学科共通科目の「進路対策Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の実実施計画及び次年度以降の検討
 - (3) 企業実習の企画立案
 - (4) 進路指導体制の構築に関する立案
 - (5) その他、進路に関する調査研究
- ・ **今後の課題** 本学の運営上重要な内容を協議する委員会のため、答申だけではなく実行組織としての活動も求められた。企画立案に止まらず、企画の即効性や実効性を図った。また、厳しい就職状況を反映して企画内容についても従来の方法を再検討する時期にきていることから、進路状況の動向を調査し、指導対策の改善が課題となっている。

12) 人権啓発委員会

- ・ **目的** 本学における基本的人権に関する意識の高揚を計るとともに、学生及び教職員が健全な社会の構築に寄与することを目的とする。
- ・ **委員構成**
 - 委員長 高橋守人 学長
 - 委員 真下 仁、斎藤守正、宮内 潤、八尋剛規、矢原充敏、末松泰子、チョウアンナ、小林 繁、香月康則、芳賀里美

- ・内 容 県内や市内で開催された人権研修会に参加し、人権に関する意識の高揚を図ることや学内への啓蒙を図った。
- ・今後の課題 人権の尊重は、多様化が進む社会での重要課題である。さらに啓発に努力しなければならない。

13) セクシャルハラスメント人権委員会

- ・目 的 本学におけるセクシュアル・ハラスメント防止と被害者を救済することを目的とする。
- ・委員構成
 - 委員長 高橋守人 学長
 - 委 員 真下 仁、齋藤守正、宮内 潤、八尋剛規、矢原充敏、吉岡メリー、小林 繁、香月康則、古川智絵美、山下真里
- ・内 容 教学上（教育，研究及び課外活動を含む学生生活），業務上等の関係を利用してなされる次にあたる行為がないか審議した。
 - (1)性的要求への服従又は拒否を理由に利益又は不利益に影響を与えること。
 - (2)利益又は不利益を条件として性的誘いかけをなし，又は，性的に好意的な態度を要求すること。
 - (3)性的言動，掲示等により不快の念を抱かせるような環境を作り出すこと。
- ・今後の課題 セクシュアル・ハラスメントの問題は、被害者が表に出さない限り表面化することが少ないため、審議事項が出ることがない。今後は、相談員や関係者等からの事情聴取などを定期的に行う。

14) 危機対策委員会

- ・目 的 学校法人東海大学危機管理委員会と協力して、事件・事故を未然に防ぐよう教職員へ危機管理に関する啓発を行い、また防止策を検討し実施すること。
- ・委員構成
 - 委員長 高橋守人 学長
 - 委 員 企画調整会議委員（森田、山本（真）を除く）
- ・内 容 本学が関わるすべての事項に関して、事故の未然防止や活動の啓蒙について話し合った。特にセクハラやアカハラは社会的にも問題になっている背景があることから、教授会を通じて誤解されない言動についても周知徹底を図った。
- ・今後の課題 本学役職者が委員として運営しているため、管理運営上における意思統一や指示命令系統は整理されている。しかし、今後予測される問題への調査や防止策については、積極的な展開ができず、学園からの指示や啓蒙に頼っていることから各種委員会との連携を強化し、問題の早期発見に努めることが課題となっている。

15) 安全衛生委員会

- ・目 的 関係法令及び学校法人東海大学安全衛生規程に基づき、東海大学福岡短期大学教職員の安全及び健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することを目的とする。
- ・委員構成
 - 委員長 高橋守人 学長
 - 委 員 佐竹則昭、北濱幹士、小林 繁、西村真紀子、古川智絵美
- ・内 容 教職員の安全及び健康の確保については、常に企画調整会議や健康推進室を中心に周知徹底された。
- ・今後の課題 小規模組織のため、管理運営上における意思統一や指示命令系統は整理されている。しかし、今後予測される問題への調査や防止策については、積極的な展開ができず、学園からの指示や啓蒙に頼っていることから、委員会が自主的に活動できる体制にすることが課題となっている。

(2) 校舎間委員会

1) 校舎間連絡会議

- ・目 的 福岡キャンパスとしての認識を再確認するとともに、現状を把握し、互いに協力してい

くことを主たる目的とする。

・委員構成

委員長 高橋守人 学長

委員 (短大) 真下 仁学長補佐、宮内 順観文研所長、齋藤守正情報処理学科主任、
矢原充敏一貫教育部会幹事、小林 繁事務室長、森田博文事務係長
(五高) 武富正治校長、白川裕久副校長、森永州一教頭、森山 誠教頭補佐、
辛島久樹事務長 (望星高校福岡校、自由ヶ丘幼稚園兼務)
(望星) 福島敏満教務主任
(自幼) 白川裕久園長 (兼務)

・内 容

各校舎より現状の把握、キャンパスとしてのイベント実施、教育内容の互換、施設の開放等について協議する予定であったが、事情により未開催となった。

・今後の課題

今後のキャンパスの活性化に向けて、行事の一本化や教職員の交流を活発化させる課題があるが、年々各機関とも学校運営を優先させるため継続的な審議となっている。

2) 一貫教育推進委員会

・目 的 付属第五高校や望星高校福岡校との高大連携に関する事項を調査研究し、答申すること。

・委員構成

委員長 矢原充敏

委員 宮内 順、香月康則

・内 容

付属第五高校における付属推薦決定者に対する事前学習、現代文明論講義等を主とする教育連携についてその都度協議を行い、答申した。

・今後の課題

法人の一貫教育委員会のテーマとは別に、基礎学力低下問題や目的意識の不透明化などが共通した課題であることから、より多くの意見交換を行う場を設け、福岡キャンパスがいったいとなった取組と活用方法が当面の課題となった。

3. 事務組織

(1) 職員数

2008年5月1日現在

区 分	事務職員			技術職員			臨時職員			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
事務室	4	5	9	0	0	0	0	0	0	4	5	9
メディア情報センター	1	0	1	1	0	1	0	1	1	2	1	3
健康推進室	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
計	5	5	10	1	1	2	0	1	1	6	7	13

兼務者1

兼務者1

(2) 職員名簿 (臨時職員を除く)

所属	役職・職能資格	氏名	法人採用年月日	福岡短期大学発令年月日	現職発令年月日	備考	
事務室	室長	参事	小林 繁	77.6.1	08.4.1	08.4.1	
	係長	副主事	香月康則	88.4.1	01.4.1	05.4.1	
	係長	副主事	森田博文	87.4.1	03.4.1	05.4.1	
	係長	副主事	山本真由美	75.4.1	96.4.1	08.4.1	
		主査	西村真紀子	87.4.1	97.4.1	04.4.1	
		主査	芳賀里美	81.4.1	05.4.1	05.4.1	
		主査	久田秀子	70.4.1	90.4.1	04.4.1	
		職員2級	山下真里	05.4.1	07.4.1	07.4.1	
メディア情報センター	特任職員	山本健一	06.7.1	06.7.1	07.4.1		
	学長	教授	高橋守人	70.4.1	06.10.1	06.10.1	
	付	講師	宮川幹平	03.5.1	03.4.1	04.4.1	
	管理企画室	室長	参事	小林 繁	77.6.1	08.4.1	08.4.1
	ラーニングリソースラボ	室長	准教授	矢原充敏	93.4.1	93.4.1	04.4.1
	情報システム	室長	准教授	八尋剛規	92.4.1	92.4.1	04.4.1
健康推進室		特任技術職員	塘 将典	05.4.1	05.4.1	05.4.1	
	室長	参事	小林 繁	77.6.1	08.4.1	08.4.1	
		保健技術員	古川智絵美	99.4.1	99.4.1	05.4.1	

(3) 教職員の研修等

NO.	出張期間	研修会等名称	主催	開催場所	出席者名
1	4/22-23	質の高い大学教育推進プログラム公募要領等説明会	文部科学省	大阪国際交流センター	八尋 剛規、竹内 裕二、宮川 幹平
2	4/24	大学・専修学校等就職担当者と事業所との意見交換会	福岡県雇用対策協会	博多都ホテル	佐竹 則昭、山本 真由美
3	4/28	福岡地区就職担当者連絡協議会	福岡地区就職担当者連絡協議会	福岡ガーデンパレス	小林 繁、山本 真由美
4	5/12-14	日本短期大学協会春季総会	日本短期大学協会	東京紀尾井町ホテルニューオータニ	高橋 守人
5	5/28	宗像大学のまち協議会総会	宗像大学のまち協議会	グローバルアリーナ	小林 繁
6	5/29	平成20年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会	平成20年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会	福岡教育大学	梅田 亜矢
7	5/29	ハラスメント相談員研修会	福岡教育大学	福岡教育大学	小林 繁
8	6/4-6	目録作成等の講習会	東海大学付属図書館	東海大学付属図書館中央図書館	梅田 亜矢
9	6/12	平成20年度大学入学者選抜・教務関係協議会	文部科学省	広島大学	森田 博文
10	6/17	経常費補助金事務研修会	日本私立学校振興・共済事業団	福岡大学	小林 繁、山下 真里
11	6/20	福岡地区短期大学学生部懇談会	福岡地区短期大学学生部懇談会	西日本短期大学	森田 博文、山本 健一
12	6/30	大学生の交通事故防止懇話会	福岡県警察本部	九州大学	山本 健一
13	7/10-11	短期大学基準協会第三者評価評価員研修会	短期大学基準協会	ホテルベルクラシック東京	宮川 幹平
14	7/11-13	課題別研修会	学校法人東海大学	東海大学湘南校舎	香月 康則、山下 真里
15	7/16	平成20年度福岡県大学等就職問題連絡協議会就職促進連絡会定期総会	福岡県大学等就職問題連絡協議会	福岡ガーデンパレス	小林 繁
16	7/18-19	課題別研修会	学校法人東海大学	東海大学湘南校舎	山本 真由美、久田 秀子
17	7/24	留学生サポートセンター開所記念講演	留学生サポートセンター	アクロス福岡	小林 繁
18	7/30	宗像市男女共同参画推進懇話会	宗像市	宗像市役所	真下 仁
19	7/30	日商PC検定試験指導者説明会	日本商工会議所	福岡商工会議所	末松 泰子
20	7/30	来日外国人犯罪抑止連絡会	福岡県警察本部	福岡県警察本部	山本 健一
21	7/30	福岡県・佐賀県大学図書館協議会福岡地区研究会	福岡県・佐賀県大学図書館協議会	西南学院大学	山本 真由美
22	8/9	平成20年度不登校・いじめ等対応実線研修	福岡県新社会推進部少年課	サン・グレートみやこ	小林 繁
23	8/20-22	第38回九州地区保健管理研究協議会	九州地区保健管理研究協議会	福岡ガーデンパレス	古川 智絵美
24	8/20-22	東海大学経理研修会	学校法人東海大学	学校法人東海大学代々木校舎	小林 繁
25	8/25	宗像市男女共同参画推進懇話会	宗像市	宗像市役所	真下 仁
26	8/29	福岡地区短期大学就職担当者連絡協議会夏期研修会	福岡地区短期大学就職担当者連絡協議会	福岡ガーデンパレス	山本 真由美
27	9/2	第34回福岡県私立短期大学教務担当者連絡会	福岡県私立短期大学教務担当者連絡会	福岡こども短期大学	小林 繁、森田 博文、西村 真紀子
28	9/7-10	私立短大就職担当者研修会	私学研修福祉会	札幌ガーデンパレス	山本 真由美
29	9/15-18	2008年度資格等級別研修	学校法人東海大学	学校法人東海大学婦恋研修センター	山下 真里
30	9/17	平成21年度第三者評価評価校ALO対象説明会	短期大学基準協会	ホテルベルクラシック東京	真下 仁、小林 繁
31	9/19	平成21年度科学研究費補助金公募要領等説明会	文部科学省	熊本大学	西村 真紀子
32	9/19	福岡市近郊私立短大懇話会	福岡市近郊私立短大懇話会	福岡ガーデンパレス	小林 繁、森田 博文
33	9/26	宗像地区犯罪被害者支援協議会分科会	宗像警察署	宗像警察署	小林 繁
34	10/7	大学のための危機管理セミナー	日本学生支援機構	九州大学	古川 智絵美
35	10/7	教育GP補助金説明会	文部科学省	国立大学財務経営センター	矢原 充敏、小林 繁
36	10/10	個人情報保護法に関する説明会	福岡県総務部	都久志会館	小林 繁
37	10/30	平成20年度宗像地区ハラスメント防止研修会	宗像3大学	福岡教育大学	小林 繁、古川 智絵美
38	11/18	年末調整説明会	香椎税務署	宗像ユリックス	芳賀 里美
39	11/21	福岡地区就職連絡協議会	福岡地区就職連絡協議会	福岡ガーデンパレス	山本 真由美
40	11/21-22	2008年度九州地区私立大学事務連絡協議会	2008年度九州地区私立大学事務連絡協議会	パシフィックホテル沖繩	小林 繁
41	11/26	健康増進セミナー	財団法人パブリックヘルスリサーチセンター	ホテルオパレス博多	古川 智絵美
42	11/26	福岡県・佐賀県大学図書館協議会	福岡県・佐賀県大学図書館協議会	西南学院大学	山本 真由美、梅田 亜矢
43	11/27	教育改革セミナー	文部科学省	福岡国際会議場	真下 仁
44	11/30-12	代々木校舎 労務管理責任者説明会	学校法人東海大学	東海大学代々木校舎	小林 繁
45	12/1	私立大学・短期大学マネジメントセミナー	日本私立学校振興・共済事業団	福岡工業大学	森田 博文
46	12/3-5	第41回学校法人東海大学健康推進勤務者研修会	学校法人東海大学	東海大学湘南校舎	古川 智絵美
47	12/9	セクシャルハラスメント防止セミナー上申	福岡県福岡労働福祉事務所	福岡市立婦人会館「あいろん」	古川 智絵美
48	12/11	ハラスメント対応研修会	宗像3大学	福岡教育大学	古川 智絵美
49	12/12	近郊短大事務懇親会	近郊短大事務懇親会	福岡ガーデンパレス	香月 康則、森田 博文
50	12/12	福岡県私立短大連絡協議会定期総会・懇親会	福岡県私立短大連絡協議会	福岡ガーデンパレス	高橋 守人、小林 繁
51	12/17	平成20年度宗像市人権問題講演会	宗像市	宗像ユリックス	小林 繁、古川 智絵美
52	1/9	福岡地区短期大学就職担当者連絡協議会総会	福岡地区短期大学就職担当者連絡協議会	福岡ガーデンパレス	山本 真由美
53	2/5	宗像市国際交流連絡協議会	宗像市	メイトム宗像	小林 繁、香月 康則
54	2/10	日本学生支援機構奨学業務連絡協議会	日本学生支援機構	九州大学	森田 博文、山本 健一
55	3/14-15	インディア審判員公認B級審判員認定講習会	社団法人インディアカ協会	ニチ学館神戸ホートアイランドセンター	北濱 幹士
56	3/25	平成21年度「大学教育充実のための戦略的連携推進プログラム」公募説明会	文部科学省	福岡ファッションビル	矢原 充敏、竹内 裕二、小林 繁

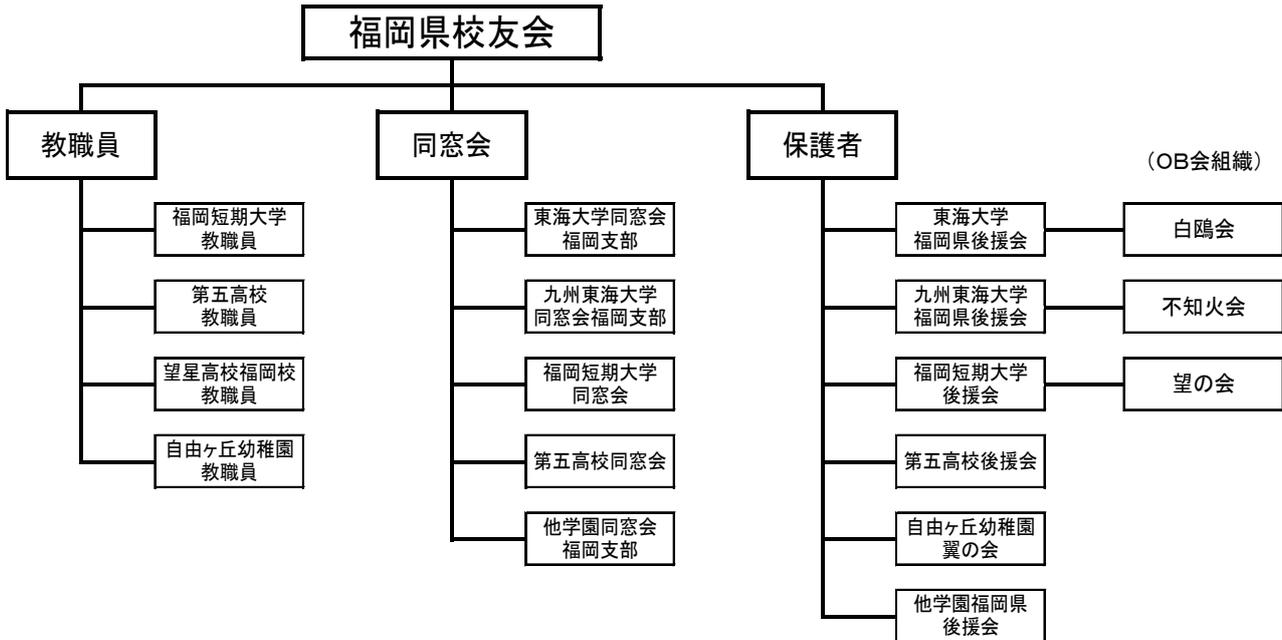
4. 校友会組織

(1) 福岡県校友会

校友会とは、学園各教育機関（本学および東海大学、九州東海大学、北海道東海大学、東海大学短期大学部（高輪・静岡）、東海大学医療短期大学、付属諸学校）の後援会（PTA含む）、同窓会、および後援会のOBで組織する望の会や白鷗会等の会員と教職員で構成し、会員相互の友好と親睦を深め、東海大学学園の発展並びに社会的活動の推進に寄与することを目的としている。

福岡県校友会は、以下の組織の役員と会員をもって構成し、本学からは、同窓会、後援会、望の会が所属している。なお、代表幹事には、東海大学同窓会福岡支部長で同窓会九州ブロック会長の木田文武氏が就任、事務局長には付属第五高校事務長の辛島久樹氏が務めている。

福岡県校友会組織図



(2) 同窓会

卒業生をもって組織し、会員相互の親睦を図り、会の運営を通じて社会に貢献し、併せて母校の発展に寄与することを目的としている。

活動の中心は、総会であり隔年で開催しているが、今年度は第10回総会及び懇親会を開催した。例年建学祭において役員による模擬店を出店し、当日参加した同窓生の交流の場となっている。今後は、沖縄など他県支部の発足などを考える予定だが、総会の参加者数が年々少なくなっており、開催日程や場所などを模索しながら運営していかなければならない。また、入学式、建学記念式典、学位授与式等の学内行事にも会長が参列し、特に卒業記念パーティーでは新会員となる卒業生に対して祝辞を述べ、新役員の紹介も行った。

今年度も同窓会会報「何しよう？」第10号を発行（毎年1回）し、会員相互交流の一助を担っている。第8号より新聞形式で学園全体の情報も織り交ぜながらの発刊となった。

・役員

会 長	久 峯 直哉	(1991年度情報処理学科卒：1期生)
副会長	白 川 良子	(1998年度情報処理学科卒：8期生)
総務・会計	林 田 勝博	(1994年度情報処理学科卒：4期生)
総 務	大 淵 義弘	(2002年度情報処理学科卒：12期生)
	細川潤一郎	(2002年度国際文化学科卒：12期生)
監 査	吉田智恵子	(2000年度情報処理学科卒：10期生)
	中野 佑美	(2007年度国際文化学科卒：17期生)
幹 事	枅 寄 博之	(1991年度情報処理学科卒：1期生)
	摩 嶋 昌代	(1998年度情報処理学科卒：8期生)

北野 直人 (1999 年度情報処理学科卒 : 9 期生)
田中 裕子 (2003 年度情報処理学科卒 : 13 期生)
内田 美鈴 (2005 年度情報処理学科卒 : 15 期生)
宮原佳菜子 (2005 年度国際文化学科卒 : 15 期生)
大庭信太郎 (2006 年度情報処理学科卒 : 16 期生)
磨井 知穂 (2006 年度国際文化学科卒 : 16 期生)
樋口 祐哉 (2006 年度情報処理学科卒 : 17 期生)

事務局長 森田 博文 (福岡短期大学事務室)

(3) 後援会

本会は本学在学生の保護者をもって組織し、本学と後援会との密接な連絡により、相互の親睦を深め、本学の発展と向上を計ることを目的として、2か月に1回のペースで役員会を行い、9月初旬に総会を開催した。

また、在籍者の多い九州山口地区は各県に支部を設け、独自で支部総会を開催している。その他本学の入学式・卒業証書授与式等主要行事に役員が出席し、祝辞を述べている。

なお、昨年に引続き、学園祭への資金援助だけではなく、学生行事の理解を深め協力すること及び保護者の参加促進を目的とし、建学祭に模擬店(喫茶無料)参加した。今後共こうした活動を通じて保護者の大学理解を促進することも大切な活動との認識を深めることができた。

・役員

顧問	安武 信之	(望の会会長)
会長	山下 晴路	(情報処理卒業生保護者)
副会長	永野 雅己	(情報処理2年生保護者)
副会長	田中賀由里	(情報処理2年生保護者)
副会長	桑野 郁子	(情報処理1年生保護者)
事務局長	山本千恵美	(国際文化卒業生保護者)
会計	石松 敦子	(情報処理1年生保護者)
会計	阿部 千秋	(国際文化1年生保護者)
監査	米倉 洋子	(国際文化1年生保護者)
監査	白木真智子	(情報処理1年生保護者)

・各県代表幹事

佐賀県	宮地 愛子	(情報処理2年生保護者)
長崎県	橋本 晃一	(国際文化2年生保護者)
熊本県	成迫 幸子	(国際文化2年生保護者)
大分県	池辺 美智子	(国際文化2年生保護者)
宮崎県	堀之内真一	(情報処理2年生保護者)
鹿児島県	永里 豊重	(国際文化2年生保護者)
沖縄県	横田 克信	(国際文化2年生保護者)
山口県	星野 豊馬	(情報処理2年生保護者)

・連合後援会

本学園三短大四校舎の各後援会の結集体として、秋(10月第1土曜日)に総会を開催している。本年度は短期大学部(静岡)後援会が担当し、連合後援会総会を静岡で開催した。連合後援会の副会長に本学後援会会長が選任されている。

総会参加 山下晴路(会長)、田中賀由里(副会長)、阿部千秋(会計)、米倉洋子(監査)、白木真智子(監査)、小林繁(事務室長)、香月康則(事務室係長)

(4) 望の会

本学卒業生の保護者を会員として相互の親睦と本学の発展に寄与することを目的として毎年11月に総会を開催している。

なお、望の会と後援会は表裏一体の関係であるとの認識を確認し、後援会活動に出来る限り参加した。2004年度より後援会役員会に顧問としての参加することとなり、会員同士の懇親と後援会及び短大教職員との交流を目的に親睦旅行を今年度は5月に実施した。

また、校友会などを通じて他団体との懇親を深めることも行った。更に2006年2月からは社会奉仕の一環として赤間駅周辺清掃活動を開始する等、活動の活性化を図っている。

・2007・2008年度役員（任期・2ヶ年）

顧問 堤田 賢一（91年度卒業生保護者）
 相談役 藤井 恒亮、瓜生 幸雄、花田 正善、平河 哲、福岡 弘祐、富永 英暉、
 山口 泰秀、的場 重徳（91年度卒業生保護者）
 会長 安武 信之（92年度卒業生保護者）
 副会長 土師 紀生（94年度卒業生保護者）池田 弘（95年度卒業生保護者）
 事務局長 大淵 茂樹（93年度卒業生保護者）
 理事 久保田 喬、椛田 藤枝（92年度卒業生保護者）
 倉敷 正子（93年度卒業生保護者）、山西 敏夫（96年度卒業生保護者）
 石田 基志（97年度卒業生保護者）、友成 敏博（98年度卒業生保護者）
 監事 高木 靖、高田 せい子（94年度卒業生保護者）

5. 諸規程

規程名称	管理部署	制定日
学則/学則・園則		
東海大学福岡短期大学学則	事務室	1990/04/01
組織及び業務分掌/学(校・園)長会議・教授会等		
東海大学福岡短期大学教授会規程	事務室	1990/04/01
組織及び業務分掌/大学・短大付置研究所		
東海大学福岡短期大学観光文化研究所規程	事務室	1996/04/01
総務/人権		
東海大学福岡短期大学人権啓発委員会規程	事務室	1996/04/01
東海大学福岡短期大学セクシュアル・ハラスメント人権委員会規程	事務室	1999/12/01
東海大学福岡短期大学セクシュアル・ハラスメント調査委員会規程	事務室	1999/12/01
東海大学福岡短期大学個人情報保護委員会規程	事務室	2005/04/01
人事/人事(任用・資格・研修・出向)		
東海大学福岡短期大学教員資格審査委員会規程	事務室	1997/04/01
東海大学福岡短期大学教員資格審査小委員会規程	事務室	2003/09/01
人事/学長・校長等選任		
東海大学福岡短期大学主任教授選任規程	事務室	1991/04/01
学務/教務・委員会(教務・運営・教育・改組改編等)		
東海大学福岡短期大学教学委員会規程	事務室	2002/04/01
東海大学福岡短期大学教員授業担当規程運用内規	事務室	2003/04/01
学務/課程・教育センター等		
東海大学福岡短期大学メディア情報センター運営委員会規程	メディア情報センター	2002/04/01
学務/学修・教育補助		
東海大学福岡短期大学学修に関する規則	事務室	1990/04/01
東海大学福岡短期大学補助教育講座委員会規程	事務室	1994/04/01
学務/一貫教育・現代文明論		
東海大学福岡短期大学現代文明論委員会規程	事務室	1993/04/01
学務/紀要・教科書		
東海大学福岡短期大学紀要に関する規程	事務室	1999/04/01
学務/学位		
東海大学福岡短期大学学位規程	事務室	2006/03/01

学務/研究(派遣計画・受託事業・特別休暇等)		
東海大学福岡短期大学研究活動の不正防止対策委員会規程	事務室	2007/04/01
東海大学福岡短期大学研究活動の不正に関する調査委員会規程	事務室	2007/04/01
東海大学福岡短期大学研究活動の不正告発相談窓口規程	事務室	2007/04/01
学務/表彰・基金・奨学金・研究奨励		
東海大学福岡短期大学奨学金規程	事務室	1995/10/01
東海大学福岡短期大学資格取得奨励奨学金に関する細則	事務室	2008/04/01
東海大学福岡短期大学沖縄県竹富町との交流協定奨学金に関する細則	事務室	2004/04/01
東海大学福岡短期大学学習奨励奨学金に関する細則	事務室	2004/04/01
東海大学福岡短期大学遠隔地奨学金に関する細則	事務室	1998/04/01
東海大学福岡短期大学付属高校特別奨励奨学金に関する細則	事務室	2001/09/01
学務/学生生活・賞罰・学塾		
東海大学福岡短期大学保健管理委員会規程	事務室	1997/04/01
東海大学福岡短期大学学生生活に関する規則	事務室	1990/04/01
東海大学福岡短期大学の学生の車両入構に関する規則	事務室	1997/09/01
学務/試験・再履修		
東海大学福岡短期大学試験に関する細則	事務室	1990/04/01
学務/科目履修生・研究生・聴講生・受託生等		
東海大学福岡短期大学科目等履修生に関する規程	事務室	1994/04/01
東海大学福岡短期大学研究生に関する規程	事務室	1990/04/01
学務/地域教養講座・公開セミナー等		
東海大学福岡短期大学エクステンションセンター福岡講座運営委員会規程	事務室	2002/04/01
学務/就職		
東海大学福岡短期大学職業紹介業務運営規程	事務室	2003/10/01
東海大学福岡短期大学職業紹介業務に係る個人情報適正管理規程	事務室	2003/10/01
東海大学福岡短期大学進路指導委員会規程	事務室	2002/04/01
学務/大学評価		
東海大学福岡短期大学大学評価委員会規程	事務室	1992/11/01
学務/入学試験		
東海大学福岡短期大学入学者選抜関係規程	事務室	1990/04/01
東海大学福岡短期大学広報・入試委員会規程	事務室	2002/04/01
東海大学福岡短期大学入学試験運営組織及び業務分掌規程	事務室	1997/04/01
国際/国際交流・海外研修・留学生(派遣・受入等)		
東海大学福岡短期大学学生の留学に関する規程	事務室	1998/04/01
図書館/図書館(運営・図書)委員会		
東海大学福岡短期大学図書館規程	事務室	1990/04/01
図書館/資料(収集・管理)・帯出・利用		
東海大学福岡短期大学図書館資料収集・管理規程	事務室	1990/04/01
東海大学福岡短期大学図書館利用規程	事務室	1990/04/01